

What's AYAKEN?

AYAがんの医療と支援のあり方研究会 (AYA研) は、
思春期・若年成人 (Adolescent and Young Adult, AYA)
がんの医療と支援の向上を目的として、当事者とともに、
学術活動・教育活動・社会啓発及び人材育成等を行う学
術団体です。

AYA世代は主に15～39歳の若い人のことを指し、国内では年間約
20,000人がこの世代でがんと診断されています。

がんの治療成績は治療法の進歩とともに改善していますが、とりわ
け、AYA世代は、身体的・精神的に成長発達し、社会的に自立してい
く重要な時期であり、人生を方向付ける主要なライフイベントが集
中する時期です。

がんやその治療は人によってさまざまですが、病気や治療のために
生活や人生設計の変更を余儀なくされる人は少なくなく、AYA世代
に衝撃を与えます。

AYA研は、職種や立場を超えた対話を大切にしながら、AYA世代の当
事者と同じ目線で医療や生活の課題を捉え、当事者に還元すること
を目指して学術的な研究・活動を推進する学術団体です。



What's AYAKEN?

理事長挨拶

Message

誰一人取り残さない

がん対策を推進し、

全ての国民とがんの克服を目指します。



一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会（AYA研）は、厚生労働省の研究事業でAYA世代の実態調査を行った研究班のメンバーが中心となって2018年に立ち上げた団体です。

AYA世代はおよそ15歳から39歳までの変化に富むライフステージを指し、この世代でがんと診断される方は国内で年間に2～3万人いますが、がんとその治療は、身体的な影響だけでなく、生活やキャリア、ライフプランにも大きな影響を与える可能性があります。

しかし患者の少なさやがんの多様性のため、当事者が孤立しやすく、また医療者や支援者も知恵や経験を蓄積しにくい状況があります。AYA研は、このような実態を踏まえ、AYA世代のがんに関わるステークホルダーのハブとして、学術活動、人材育成、社会啓発、社会連携など活動を幅広く展開して参りました。

AYA研は医療系の学術団体ですが、対等なパートナーシップによる患者市民参画を実現しており、その文化が育む創造的な対話を大切にしながら、現場の声に根差し、当事者に還元される医療と支援を目指しています。

ひとりでも多くの方にAYAの世代のがんに関心を持っていただき、AYA研の活動にご参加、ご支援いただければ幸いです。

清水 千佳子

一般社団法人AYAがんの医療と支援のあり方研究会 理事長

国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科/ がん総合診療センター

Introduction to Our Activities !

AYAKENの活動をご紹介します！

01 学術活動

Academic Activities

学術集会

年に1度学会を開催しています！

AYA世代に関わる最新情報の共有と学際的交流を目的に、がん医療の未来を描く熱気ある議論が交わされる学会を年に1度開催しています。

一般発表の中から厳選された優秀演題に対して表彰するなど、コンテンツも目白押しです。



\ PICK UP! /

2024年度開催 第6回学術集会

「AYA世代がん患者が持つ“力”
を発揮出来る社会を考え、
彼らの“しなやかさ”に学ぶ」

大会長：小澤 美和
(聖路加国際病院)

会期：2024年5月11日(土)12日(日)

参加者数：会期中の参加登録403名

現地参加者数407名

研究会誌「AYAがんの医療と支援」の創刊

年に2回機関誌を発刊しています。

研究成果の発信、学術的交流、情報伝達の間として、年に2回機関誌を発刊しています。様々な職種や立場の会員によるAYAがんに関する医療と支援に関する研究論文発表、最新の研究や活動などの紹介コーナーなど、会員への情報伝達の間となっています。

現在は、第1巻1号～第4巻2号まで発刊済み。

論文投稿は随時受付中！



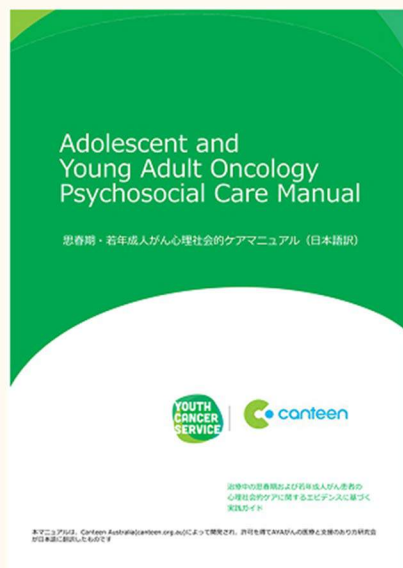
国際的な連携

国境を越えて関連諸団体と連携しています。

AYA研では、国境を越えて国際的な関連諸団体と連携する取り組みを行っています。

2024年の主な取り組み事例

- 第6回学術集会の国際連携委員会企画として、Canteen AustraliaのFiona McDonald先生に心理社会的ケアマニュアルの活用について講演を実施。
- がん経験者である会員を対象とした、国際学会等参加助成金の募集を行い、THE 6TH GLOBAL AYA CANCER CONGRESS(2024年12月・オーストラリア)への参加助成を実施
- CANTEEN の許諾を受けて「AYA ONCOLOGY PSYCHOSOCIAL CARE MANUAL(思春期・若年成人がん心理社会的ケアマニュアル)」の日本語版を作成し、HP上に掲載
など



調査研究活動の推進

AYAに関する調査研究活動の推進を目的として、学術集会にてAYA世代がん患者の研究についてのセッションを企画したほか、2023年度から「研究デザインに悩んでいる方」「調査項目や内容が不安のある方」等を対象に会員向けの研究相談窓口を開設しています。(2024年度相談実績 1件)

＼ PICK UP! ／

第5回学術集会 調査・研究委員会企画

「AYAがん患者・サバイバーを対象とした研究の相談・支援」

座長：安藤 弥生 (国立がん研究センター中央病院 臨床研究支援室/血液腫瘍科)

佛願 彰太郎 (大阪府済生会吹田病院 看護部)

演者：吉田 沙蘭 (東北大学大学院 教育学研究科)

樋口 明子 (NPO法人 臨床研究支援機構/国立国際医療研究センター)



02 AYA世代支援の医療者向け For Healthcare Workers

AYAがんサポート研修会

実践的な学びのための研修会を開催しています。

AYA世代がんの医療や支援に関する知識を習得し、グループワークを通して、実践的な学びを得るための研修会を開催しています。
全国でAYA世代をサポートしている支援者が共に学び、ネットワーキングを構築する貴重な機会となっています。

各分野のエキスパートによる視聴用の講義動画をオンライン学習システムに搭載し、各自がオンライン上で学習できるよう事前研修に活用しています。



2024年
開催実績

第9回がんサポート研修会	2024年9月28日(土) 10:00～17:00	参加者 39名
第10回がんサポート研修会	2024年12月7日(土) 10:00～17:00	参加者 52名

会員用動画コンテンツ



AYA世代のがんや支援を動画で

会員専用サイト限定で、AYA世代のがんや支援に関する学びが得られる、動画コンテンツを配信しています。

診療の実態やサポーターケアなど、コンテンツのテーマを多様な内容にすることで、あらゆる職種の会員の学びや理解につなげやすい内容となっています。

チームビルディング研修会

施設のAYA支援チームを対象とした研修もしています。

2023年度から、施設のAYA支援チームを対象としたチームビルディング研修会を開始しました。「AYA支援チームを立ち上げたい方」「AYA支援チームは立ち上がっているがさらにブラッシュアップしたい方」「他の施設のAYA支援チームの活動から学びたい方」を対象としています。

モデル施設の 紹介や職種別ディスカッション、グループワークなど、施設間を超えた熱い交流と学習の場を提供しています。



	第1回チームビルディング研修会	2023年11月18日(土)9:30～17:00	合計5施設が参加
開催実績	第2回チームビルディング研修会	2024年6月29日(土)9:30～17:00	がん専門病院2施設、大学病院1施設、総合病院2施設の合計5施設が参加

カタリ場の開催



困りごと、悩みごとを一緒に考えます。

全国津々浦々でAYA世代の支援に孤軍奮闘している医療支援者同士が、ZOOMでつながり苦労や悩みを語り合う『カタリ場』をオンラインで定期開催しています。

理事長、副理事長、飛び込み理事の3名がホストとなり、AYAがんに関わる困りごと、悩みごとを一緒に考えます。AYA研として何をすべきか、アイデアを交換する場として、様々な立場の方にご参加いただいています。

研究・活動助成ならびに表彰制度の運用

AYAがんの医療と支援に係る研究や活動の助成・表彰を行っています。

AYA研では、AYAがんの医療と支援に係る研究や活動を推進するため思春期・若年成人がん領域の研究や、教育・啓発・支援活動の助成制度と優れた研究・活動を称える表彰制度を設けています。

2023年度に第1回研究・活動助成ならびにAYA研究・活動奨励賞の公募を開始しました。



2024年第2回
研究助成2名、活動助成1名に贈呈 (研究・活動奨励賞は応募なし)



03 患者さん向け

For Patient

全国AYA世代がん患者会の運営者の交流会開催

全国各地のAYA世代がん患者会の運営者同士が集う、交流会を開催しています。活動内容や悩みごとを共有することで、AYA研として患者会活動を支援するために必要な取り組みを考える機会となっています。

エピソードバンクの運営

気持ちや経験を投稿するエピソードバンクを立ち上げました！

AYA世代のがんにまつわる様々な生活の知恵や経験を蓄積するサイトとして「エピソードバンク」を立ち上げました。

がんを経験された方、支えた家族、友人など、あらゆる立場からの経験をエピソードとして投稿してもらうことで、生活の知恵を皆で共有することを目指したサイトです。

みなさんの「こんな気持ちになった」「こんなことが役に立った」などの気持ちや経験を投稿することで、このサイトに訪れた人の支えや理解につなげることを目的としています。



AYA世代がん患者家族向け冊子「AYA」の発刊

AYA世代のがんにまつわる内容をまとめた冊子を発刊しています。



AYA世代のがんにまつわる解説や、友達・恋人のこと、学校のこと、仕事のことなど、悩みに寄り添った内容をまとめた冊子を発刊しています。

製作・編集

平成27-29年度厚生労働科学研究費補助金(がん対策推進総合研究事業)
「総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究」
研究代表者：堀部敬三

公式サイトではPDFのダウンロード、冊子の購入を承っています！

LINEアカウントの運用

「がんと共に生きる若者を支える LINE公式アカウント」

AYA研では「がんと共に生きる若者を支えるLINE公式アカウント」を運用しています。

「自分と同じがんの経験談や患者会を探したい」「仕事や恋愛などの悩みに対するアイデアが欲しい」「交流会などイベント情報を入手したい」など、若いがん患者さんが知りたいことをLINEでまとめています。

旬なイベント情報なども随時メッセージで配信しています。



AYA世代のがんピアサポーター養成研修会の開催

ピア・サポーターの人材育成を行っています。

AYA世代のがん患者にとって同じ体験をした同世代の仲間(ピア)の存在は、心理社会的な成長を考える上で重要な存在です。AYA世代のがんは、患者数が少ないことや、多様な診療科にまたがること、社会背景も多様なことから「同じ仲間(ピア)と出会う」機会が少ないのが現状です。

AYA研では、AYA世代のがんに関するピア・サポーターの人材育成を行うことを目的とした研修会を開催しています。

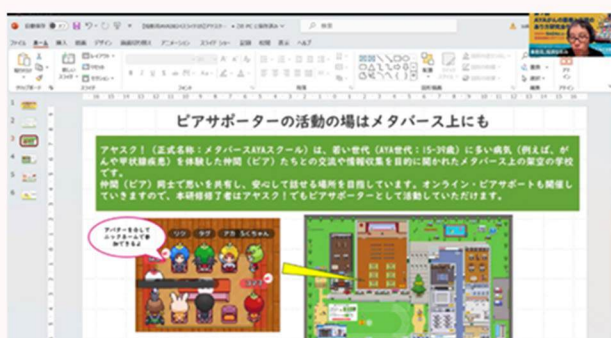
講師/ファシリテーター		
氏名	所属	役職
1 秋月 伸哉	がん・感染症センター都立駒込病院 精神腫瘍科・メンタルクリニック	講師/全席進行 ファシリテーター
2 桜井 なおみ	一般社団法人CSAプロジェクト 臨床・生活支援	講師/全席進行 ファシリテーター
3 清水 千佳子	国立国際医療研究センター病院 乳腺・腫瘍内科診療科	ファシリテーター
4 村山 典子	がん・感染症センター都立駒込病院 精神腫瘍科・メンタルクリニック	ファシリテーター
5 樋口 麻衣子	聖山大学附属病院	ファシリテーター
6 岸田 徹	NPO法人がんノート	ファシリテーター
7 御船 美絵	若年性乳がんサポートコミュニティ PINK 940	ファシリテーター
8 河田 純一	慢性骨髄性白血病 (CML) 患者・家族の会 「いずみの会」	ファシリテーター
9 多和田 奈津子	若年がん患者会ローズマリー 一般社団法人グループ・ネクサス・ジャパン	ファシリテーター
10 樋口 明子	一般社団法人AYAがんの経験と支えのあり方 研究会	ファシリテーター

AYA世代の患者会活動の課題

- ・活動規模が多様
- ・活動場所や地域、形態が多様
- ・財政基盤が弱い
- ・活動の継続が困難(生活との両立)
- ・世代の更新

おばさんどもに
思春期なんて
あるもんか

常に新しくなるAYA世代のニーズ・ライフスタイルに合わせて、
AYA世代のピアサポートを支える、持続可能な仕組みが必要



ピアサポート養成研修会 背景

- ・平成24-25年「がん総合相談に携わる者に対する研修プログラム策定事業」
- ・研修、ピアサポートが行われていない地域
- ・ピアサポーター、病院、自治体それぞれの困難
- ・平成30年度「がん総合相談に携わる者に対する研修事業」

ピアサポート研修会

2024年8月24日(土)13:00～17:30 参加数12名

04 広報・啓発活動

Public Relations

イベントへの協力・後援

AYA研では、AYA研の持つリソースやネットワークを活用し、AYAに関するイベントを開催する団体等の活動に後援や広報などの協力を行っています。

ご依頼は事務局まで
お問い合わせください！



広報活動

ホームページや公式SNSでも発信しています！

ホームページやさまざまな世代に合わせた公式SNS(X、Facebook、Instagram)からの情報発信を通して、より多くの人にAYAに関する適切な情報が届けられるよう活動を強化しています。

またAYAに関する報道やAYA研への取材、お問い合わせなどにご対応しております。



伊藤園コラボレーション



AYA研オリジナルラッピング自動販売機

AYA研では、伊藤園とコラボレーションしたAYA研オリジナルラッピング自動販売機を設置する取り組みをしています。

自動販売機の売上の一部は、寄付としてAYAがんの医療と支援に役立てられます。

現在、AYA研オリジナルラッピング自動販売機を設置していただける病院や事業者さまを募集しています。関心のある方や施設様は、事務局までご連絡ください。

AYA世代の啓発週間「AYAweek」開催

AYA研では、広くAYA(思春期・若年成人)世代を支援している皆様と協働し、AYA世代がんの社会啓発活動「AYAweek」を開催しています。

2021年3月に第1回「AYAweek 2021」を開催しました。

以後、「知ろう、一緒に」をメインテーマに据え、毎年多くの医療関係だけでなく、多くの支援団体・企業と共に啓発活動を繰り広げています。

全国で開催されたイベントにご参加いただき、そしてメディアやSNSで紹介され、AYA世代がんについての知識や課題が共有できています。

そして参加者同士の交流も生まれ、AYA世代がんについての理解が進んでいることと思います。

このイベントを通して、一定の社会啓発が達成できているものとして、毎年開催しています。

AYAweek 2024報告

2024年には「誰かが誰かの勇気になる」をテーマとしました。全国60団体がそれぞれにイベントを開催、35団体より後援をいただきました。AYA世代応援フラッグは、全国117施設(43都道府県)から集まりました。

大交流会はこれまではオンラインの開催だったのですが、2024年は大交流会を東京・愛知・大阪・福岡の現地で会場を設け各地で集合し、直接語る時間を持つことができました。オンラインの参加も含め200名近い方が参加しました。



2025.
3.8(土)
～3.16(日)

知ろう、一緒に。

AYA
WEEK
2025

AYA世代(15～39歳)の“がん”の
「今まで」と「これから」を考える一週間。

参加団体募集期間：2024.11.30(土)まで

主催：AYAweek2025実行委員会
AYAweek2025実行委員長：二宮 みさき
office@ayaweek.jp

公式サイト
AYAweek2025

\ PICK UP! /

AYAweek 2025

03.08(土)

03.16(土)

「今まで」と「これから」
を考える一週間。

2025/3/8(土)～3/16(日)に「今までとこれからを考える」をテーマとし、開催いたします。

今回もAYA世代がん患者や支援者が集う大交流会、全国からのAYA世代応援フラッグ作成、AYA世代から発信するがん教育、SNSやメディアでの発信など、継続してまいります。

今回も多くの方にご理解ご支援いただいています。引き続きご注目ください！



一般社団法人
AYAがんの医療と支援のあり方研究会